

Johnan Journal

仙台城南高等学校

大学と接続した新しい学びの創造

学校法人東北工業大学
仙台城南高等学校 入試広報部
仙台市太白区八木山松波町 5-1
<https://sendai-johnan.ed.jp>



第105回 全国高等学校野球選手権記念宮城大会

準優勝 !!



7月7日(金)に開幕した、第105回全国高等学校野球選手権記念宮城大会において、硬式野球部が1962年の創部以来、初めて決勝進出し、見事に準優勝を飾りました。第2シード仙台商業との2回戦を延長十回タイブレーク逆転サヨナラで制すと、続く3回戦は昨年準優勝の聖和学園に六回コールド勝ち。準々決勝の古川学園戦、準決勝の利府戦はいずれも2-1の接戦をものにしました。決勝は強豪仙台育英に敗れはしましたが、シード校を次々撃破していく選手たちの熱い戦いぶりは多くの人々に感動を与えました。



熱闘 !! 激戦の歩み

1回戦：鹿島台中央野球場

築館	0	0	0	0	0	0	0	0	0
仙台城南	2	0	0	2	0	2	0	0	×

2回戦：仙台市民球場

仙台商業	2	0	0	0	0	0	1	1	0	2	6
仙台城南	0	0	2	0	0	0	2	0	0	3×	7

※延長10回タイブレーク

3回戦：石巻市民球場

聖和学園	1	0	0	0	0	0	1
仙台城南	2	0	5	0	1	3×	11

※6回コールド

準々決勝：石巻市民球場

古川学園	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
仙台城南	0	0	0	0	0	1	0	1	×	2

準決勝：楽天モバイルパーク宮城

利府	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
仙台城南	0	1	0	0	0	1	0	0	×	2

決勝：楽天モバイルパーク宮城

仙台育英	0	0	0	4	5	3	1	0	5	18
仙台城南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

大声援 !! 迫力の大応援団

準決勝、決勝戦は楽天モバイルパーク宮城で開催され、多くの一般生徒や保護者の方々、卒業生なども駆けつけ大応援団を結成しました。野球部の控え選手やサッカー部、男子バスケットボール部が中心となり太鼓と共に様々なエールを送りました。選手たちの熱いプレーに大きな声援や拍手がグラウンドに響き渡りました。



準優勝報告会

7月29日(土)に報告会が行われ、法人や大学関係者、後援会、同窓会、協学会などの関係の方々にお越しいただき、保護者や在校生も参加しました。樋口龍雄学校法人東北工業大学理事長からは創部以来の偉業達成に対しねぎらいとお褒めの言葉をいただきました。また、選手を代表して岡村主将が「実力で劣る私たちは、挨拶や全力疾走など当たり前のことでは100点を取ろうと心がけてやってきたからこそ、最後に野球の神様にご褒美をくれたのだと思います。新チームでは私たちが叶えられなかった甲子園出場を勝ち取ってください。暑い中での皆さまの応援ありがとうございました。」と挨拶しました。

